

L1 途中下車 語彙

8

いくぶん
幾分 名/副 =少し 幾分の不安=少しの不安

こころぼそ
心細さ

なご
和む 自 心が和む 音楽を聞くと心が和む 和める他動詞 気持ちを和める。

くちかず
口数 名 口数が多い/少ない (話多/話少)

ようそう
様相 名 (様子/様態)

いっぺん
一変する (完全改変/ 改変) 町の様相が一変する。/様相が一変した。

めった
滅多に 、副 滅多に~ない あまり~ない こんなチャンスは滅多にない。
こんな事故は滅多にない。彼は病気で休んだことは滅多にない。

い けっ
意を決して 慣用 (決意做~下決心做~)=決心する 友人が意を決して、その女子高生に話しかける。

9

みみう
耳打ちする (耳語)そっと耳打ちする テストの時、私に答えを耳打ちした。

友人はそっと私に耳打ちした。

さんざん 副/な 試験の結果は散々だった。(~很惨)。

カンニングがばれて、先生にさんざん叱られた、(非常~/狠狠地) さんざん苦労したが、結局うまくいかなかった。

えんぜん えんぜん びしょう
艶然たる N 嫣然たる微笑 (嫣然的微笑)

まんざら~~ない 満更 副並非~完全~/未必一定~~ =必ずしも、

まんざら嫌でもないらしい、まんざら知らない人でもない。

まんざら冗談でもなさそうに友人は呟いた。

並非完全是開玩笑一般、朋友小聲的說著。

じょうだん
冗談 名

^{つぶや}
呟く 他五 (小聲説) 意味不明の言葉を呟く 小聲で呟く

^{ろうにん}
浪人

^{ほんき}
本気で

あっさり 副 (坦率/清淡) あっさりした性格の人 日本料理はあっさりしている。(简单地/直接) 犯行をあっさり認める。

^{しゅくはくひ}
宿泊費

まわす 回す (挪轉)他五 お金の一部を学費に回す。

^{おやふこう} ^{おやこうこう}
親不孝な → 親孝行な

つかる 漬かる/浸かる 自五 風呂/温泉に漬かる

^{かみ}
紙きれ 名 (紙片)

^{かぎょう}
家業

^{うんそうてん}
運送店

^つ
継ぐ 他五 家業を継ぐ

^{だんねん}
断念する 父の仕事を継ぐので、進学を断念する。

10

そっちのけ 名 勉強をそっちのけにして、遊びまわる。(放一邊/抛一邊)

^よ
読みあさる 他五 (遍讀) 小説を読みあさる

^{おもかげ}
面影

ジャンケン

^{げしゆく}
下宿する (寄宿) 親戚の家に下宿する。

ほんの =少しの

^{ささや}
囁く 他五(小聲説) 耳元で囁く

^{だま}
黙りこくる 自五 (一言不發/沉默不語) 何を聞いても黙りこくっている。

握り締める 他五 (握緊) 母の手を握り締める。

^う打ちひしがれる 打撃(意志消沉) 失敗の連続に打ちひしがれる。

どない どう/どんな どない言うとした。=何とっていましたか？

ガチャンと 副 (眶喘) 受話器をガチャンと置く

^{みごと}見事に (完美的/徹底的) 予想が見事に的中した。

ふる 振る 彼女に振られた。

ぺろりと 副 ペろりとなめる

^{しつれん}失恋

^{きず}傷

につつき +N =憎い恋敵

^{こいがたき}恋敵

伊豆の踊子
川端康成

かわ

ばた

やす

な



新潮文



花のよ
うな
微笑
みと
豊か
な髪
青く
澄ん
だ
黒い
瞳の
少女
それが
踊子
だつ
た



山口百恵・映画主演第一回作品

伊豆の踊子

(カラー作品) 原作・川端康成/監督・渡辺克己/東宝・ホリ・プロダクション提供作品/東宝配給



12月28日(土) 新春大公開 千代田劇場 TEL (591)1211

同時上映 エスパイ・燃える男長島茂雄 栄光の背番号3

